

## 懇 談 会 要 旨

(1／3)

会議の名称	第2回 川の国埼玉はつらつプロジェクト新河岸川活用推進懇談会
開催日時	平成30年1月18日（木） 10時00分 開会 ・ 11時00分 閉会
開催場所	川越市役所 7AB会議室
座長（委員長・会長） 氏名	座長 大岡 敦
出席者（委員） 氏名	副座長 宮本一彦 相談役 山田禎久 委 員 三好 勝、吉野 貞、荻野 貴、根本元始、小松正彦、 村田一男、西村秀男、町田雅男、宮古正男、金子勝美、 武田侃藏、加藤忠正、蓮見 宏、木田博之、上田貴司、 富田広之、富田 稔、山崎 茂、相川 満、松澤孝治、 山岸弘明、矢崎和則、吉田昌弘、松本秀規 (委員代理含む)
欠席者 (人数)	3名
事務局職員 職氏名	観光課 副課長 田中勝宏 副主幹 中村 誉 主査 福井周平 主事 大泉将大
傍聴人（人数）	なし
懇談会次第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 4 その他 5 閉会
配布資料	・次第 ・資料1…川の国埼玉はつらつプロジェクト新河岸川整備計画（案） ・資料2…川の国埼玉はつらつプロジェクト新河岸川スケジュール (H30.1) ・参考1…新河岸川舟運区間検討図（1） 現況河床高と計画高水位との関係

議題の経過
1 開会（事務局）
2 あいさつ（座長）
3 議題（事務局）
<p>(1) 整備計画案について</p> <p>①高沢橋エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・景観に配慮した親水空間の創出を検討。</li> <li>・平成29年度、一部区間において修繕工事を予定。</li> </ul> <p>②東明寺エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・氷川神社エリア・高沢橋エリアの中間地点として回遊性機能向上を検討。</li> </ul> <p>③氷川神社エリア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舟運は、検証結果から水量確保のために堰や閘門を4～5箇所設置する必要があり、乗船時間も100分ほど要し、費用も多額を要するため、当プロジェクトにおいて舟運事業に係る整備は困難。</li> </ul> <p>④その他（第1回懇談会での質問に対する報告）</p> <p>○桜について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成32年度までという期間が限られたプロジェクトでもあるため、当プロジェクトとは別の場で検討を続けたい。</li> </ul> <p>○水質について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新河岸川の水質が昔と比べて数値的に悪くなっているわけではない。清流にするためには一定の水量を確保する必要があるが、新河岸川の河川構造や川の特性上から実現は難しい。</li> </ul> <p>(2) 質疑等</p> <p>①はづらつプロジェクト計画区間について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に行った水辺再生100プランでは赤間川公園までが計画区間であった。その時の水辺再生100プランで散策路の整備は行われたが、右岸側で赤間川公園まで歩いていくことはできない。そのため、今回ははづらつプロジェクトで区域を赤間川公園までにして、右岸側だけで歩ける散策路を整備してもよいのでは。</li> </ul> <p>→水辺再生100プランで散策路整備した際に、おそらくは技術的に検討した結果、今の散策路になっていると思われる。今の形状になっている経緯を確認してみる。</p> <p>②桜について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域にとっては、桜は非常に大切なものである。当プロジェクトとは別で検討したいということだが、どのような体制で検討していくのか。</li> </ul> <p>→市としても桜が重要なことは認識している。ただ、具体的にこういうプロセスで行っていくとまではお答えできないが、今後、協議会という場なのか実行委員会という場なのは未定であるが意見交換につなげていきたいと考えて</p>

いる。

### ③舟運について

・事務局として舟運事業は困難であると考えていることは分かった。ただ、堰を1箇所設けて田谷堰～城下橋までと区間を限定すれば、舟運の可能性はあると感じられる。もし、それでも構造上困難であるならば、もう少し検証資料を出していただいた上で納得できるようにきちんと説明していただきたい。

→あらためて、検証資料を用いて対応したい。

### ④田谷堰について

・田谷堰が非常に汚いまま残っている。今後観光客を回遊させるということであるならば、田谷堰を改修する等、もう少し何とかできないか。

→管理者が誰なのかを把握して、改修等の可否については検討していきたい。

## (3) 今後のスケジュール（事務局）

- ・高沢橋エリアの一部区間について修繕工事の実施について。
- ・日程は未定だが、各分科会を開催する旨を連絡。
- ・舟運、桜、田谷堰については次回懇談会等で報告。

## 4 その他

事務局から事務連絡。

## 5 閉会